

ふくじ草の会 だより



園

一輪草

暖かになりました。皆様にはいかがお過ごしですか？
先日の認知症高齢者の事故の責任を家族が負うべきかの裁判の判決は、大変注目されました。

ずいぶん着のことですが、夕方になると落ち着かず「家へ帰る」と出かけてしまう義父には、交通事故にあうのではと、ハラハラしておしでした。

被害者になるばかりでなく、加害者にもなり得る。これからは、様々なケースが出てくることでしょう。家族だけでは見守りきれません。ご近所や地域社会の協力、そしてなんらかの保険体制を考えていかなければならないと思います。

1月のつどいから

1月19日
17名参加

- ◎パーキンソン病の妻：デイ・サービスに起きられない。トイレにとじこもって、出られなくなった時がある。自分が貧血になってしまった。
- ◎夫が亡くなって2年たつが、このごろになって、ああしてあげれば良かった、こうしてあげたかったという思いがある。
- ◎週に3回配食サービスの仕事をしている。安否確認ができるし、話し相手にもなっている。お正月は一週間休みなので、その間のこと心配。
- ◎認知症の夫を自宅で介護：自分がうつ病的になり、疲れ果てた末、がんばるのはやめよう、自分が夫の位置に行こう、気持ちを切りかえたら、ラクになった。夫の苦しい時は、抱きしめる、手をにぎる。

- ◎母を介護の男性：老健に入所していたが、去年3月脳梗塞のため、左半身マヒとなり、グループホームへ入所。家へも外出して帰来が介護保険は、施設で使われるため、家でスロープを借りるのに実費になると、知っておいた方がいいと思う。
- ◎他人に話すことができると、ストレスを発散できる。
- ▷訪問看護ステーションホット北部の森住所長も参加して下さいました。体験しなければわからないことがありますね。(私も91歳の母を介護)苦勞を話し、わかってもらえるだけでも救われます。家族だけではできません。長続きするには、サービスを利用して、息抜きを上手にして行きましょう。

福寿草の会

愛川町介護者の会

第132号

平成28年3月7日

連絡先 愛川町社会福祉協議会

TEL 046(285)2111

3月のつどい 22日(火)

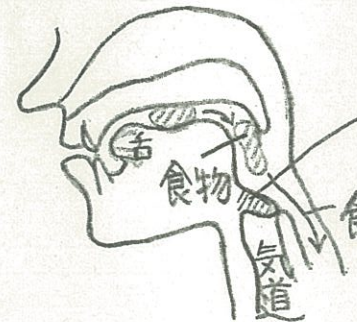
- ▷場所 厚木睦合ホーム内 慈光庵(桜庵隣り)
- ▷時間 11時半~14時
- 懇談会です。
- ◎会費 700円
- ◎昼食、デザート、コーヒー付き
- ◎参加できる方は、18日までに役員、又は小沼(285-4166)までご連絡下さい。

名づけて...愚痴川柳 館野雅子
うららかな日和りに心干してみ
暮し方何度練つても逆戻り
歯車がずれて互いの胸軋む
個の道を歩めず今日も夫と居る
流せず怒り渦巻く我が弱さ
厳しさはひよっとこ踊りの面のうら
木洩れ日の優しさ胸の道しるべ
徘徊のお供で足腰鍛えられ
事後処理が多めで負ける妻のスト
老いてなお卒業できぬ家事雑事
主人の発病のころ、ハッ九年前からのものです。
一句目は泣いていたころの句。今でも私の糧です。

在宅医療推進講演会

「いつまでもおうちで食べたい！」

- ① 「在宅医療と食べること」 東名厚木病院 総合診療科・地域連携室室長 医師 安齋 秀聡



こうとうがい
喉頭蓋

食物をのみこむ時には
気道がふさがれて誤嚥
を防いでいる

誤嚥性肺炎は、肺炎の
7割を占める

“食”は人を良くする

- 食べて、病気を治すことの大切さ
- 一番大切なことは、食べることをあきらめない。
- 安全に、おいしく、笑顔で楽しく食べられること。
- そのためには、本人の意志を尊重して、家族、医療者、介護関係者が力を合わせて取り組む必要がある。

- ② 「嚙む、飲み込むが困難なときの食事の工夫」

森の里病院 管理栄養士 桑 結花子

管理栄養士が中心となって、在宅チームで協力し、嚥下困難だが、「口から食べたい」という患者さん、家族の希望を実現させるために、患者さんの状態に合った食事を持参、あるいはその家庭で調理して、指導月2回、昼食時間に、1回535円

- ③ 「口から食べることでリハビリテーション」

東名厚木病院 作業療法士 田近 瞳

食事姿勢、なるべく上半身を立てる。嚥下体操、呼吸訓練、また全身運動。主体的に生きる、満足感、廃用症候群の予防からも自分の手で食べよう。自助具も。